

ぱーとなー

2007年9月
第70号

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています
安全・安心・信頼の医療
私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます
無差別平等の医療
私たちは人権を尊重した医療をすすめます
患者負担の少ない医療
私たちは室料差額はいただきません
地域とともに歩む専門職の育成
人権感覚をもつ専門職を養成します

迅速、丁寧な、「個々に応じた標準治療」をお約束します

呼吸器外科では、肺癌、気胸などの肺疾患、胸膜中皮腫や縦隔腫瘍などの呼吸器全般の手術を行っています。その他、未診断の肺病変の精査や、手術不能症例に対する放射線、化学療法など、呼吸器疾患全般の診療においても、呼吸器内科との垣根をなくして、密と連携をとりながら、「呼吸器センター」として関わっています。

とくに肺癌の診療においては、患者様の負担の少ない胸腔鏡補助下の手術に積極的に取り組んでおり、「痛くない」手術を心がけるようにしています。また、手術だけではなく、術後補助療法として、抗癌剤治療や放射線治療などを併用した集学的治療を積極的に取り入れ、個々の患者様の状況にあわせた、よりよい治療を目指しております。

肺癌治療の現状

2001年から2006年までに当院で行われた呼吸器外科手術269例のうち、60%以上は肺癌でした。

《早期発見》

当院では被爆量の少ない、マルチスライスCTによるヘリカル撮影を用いた肺癌健診に取り組んでいます。

発見から治療に至るまでのタイムラグを短くするために、健診後の精密検査は主に呼吸器外科で担当しています。

《診断》

組織診断のための気管支鏡やCTガイド下の経皮針生検などにも呼吸器外科が行っています。

肺癌の診断のみならず、炎症性肺疾患が疑われ、診断に難渋されるような肺病変に関しても、気管支鏡検査の適応決定なども含めて、当科で担当させていただきます。



また1cm以下の大きさで発見され、他の方法では診断がつけにくいような早期肺癌でも、胸腔鏡下生検を行うことで一期的に診断、治療を行うことが可能です。

《治療》

当院で行っている呼吸器外科手術のうち、胸腔鏡補助下の手術(Video Assisted Thoracic Surgery いわゆる VATS)が60%以上を占めます。2001年から2006年までの間に、胸腔鏡補助下の手術に伴う併発症は1例もありませんでした。

従来の胸腔鏡補助下の手術とは異なり、当院では大阪府下でも例のない、2カ所の傷から手術を行うという方法(二窓法)をとり、開胸器の使用をできるだけ避け、専用の手術器具を使用して、術後の痛みを軽減するように心がけています。創痛が軽いため、術後の離床が早く、術後1週間程度で退院が可能です。

また近年は肺癌診療ガイドラインでも術後補助化学療法を行うことが推奨されています。対象患者様の高齢化や、多彩な基礎疾患により、全員がガイドライン通りにいくわけではなく、個々の患者様の状態や希望に応じて、施行するかどうかを決定しています。

投与法の工夫や副作用対策をしっかりとることで、少しでも苦痛の少ない化学療法となるように努力しています。

術前と大きく変わらない日常生活を送りながら治療を受けるために、外来化学療法室において、外来での化学療法を中心に行っています。現在一月当たり、のべ20~30人の患者様が外来化学療法を受けておられます。

医療技術の進歩にも関わらず、肺癌は依然として予後の悪い疾患です。どなた様も「治る」ことを信じて治療にあたるのですが、実際には不幸な転帰となることも決して少なくありません。当院ではそのような際も、大病院にありがちな「終末期は他の病院で」などということはず、患者様の慣れた環境で最後まで療養していただけるように、責任を持って診療に当たらせていただきます。

また当院には緩和ケア病棟も併設されており、患者様の病状やご希望がありましたら、緩和ケア科の医師との連携のもとで、こちらでの療養も可能です。

耳原総合病院地域医療室
電話 072-241-0324
Fax 072-241-0208
Fax 072-241-0670

受付時間 月・水・金 午前9:00~午後7:00
火・木 午前9:00~午後5:00
土 午前9:00~午後1:00

お電話で患者さまのご都合に合わせて予約いただけます。

折り返しFAXにて予約票をお送りします。

事前にカルテを準備してお待ちします。

カルテ作成に必要な情報をFAXして下さい。

予約当日、患者さまが受診の際

保険証 診療情報提供書 上記予約票をご持参下さい。